

## 令和7年度 青森県県土整備部優良建設関連業務表彰

県土整備事務所長表彰

## 業務の概要

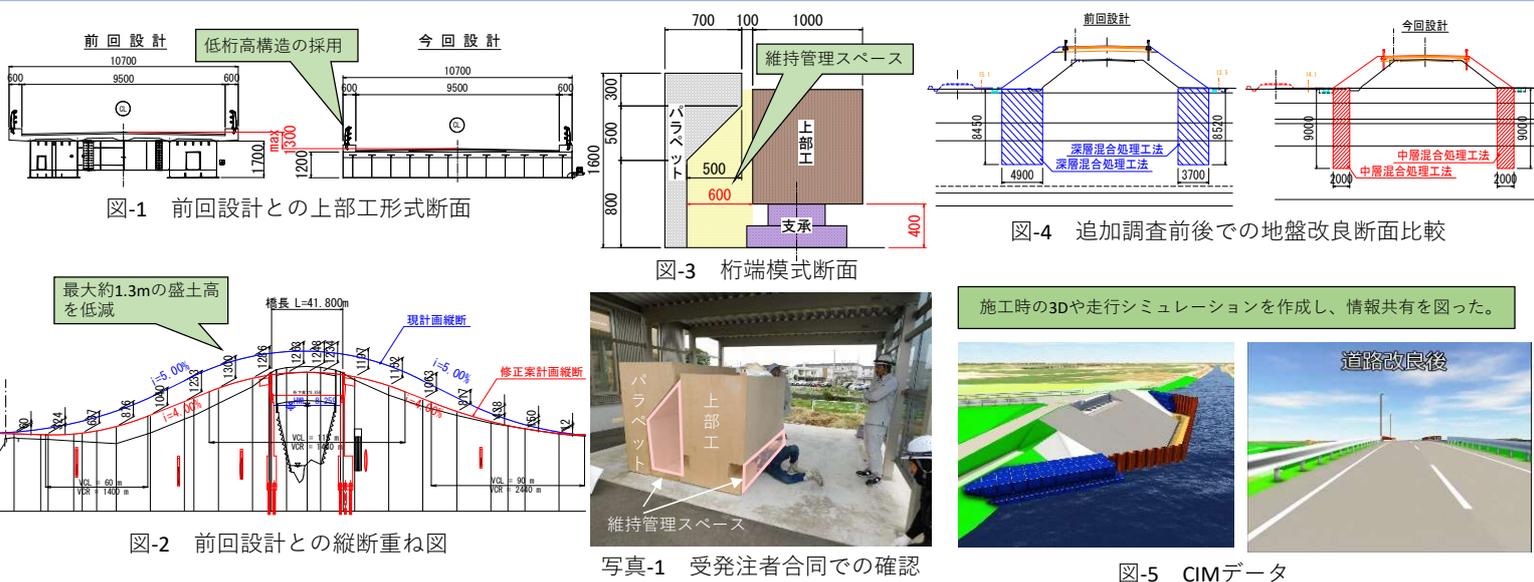
業務名	国道339号橋梁架替(新長富橋)修正設計業務委託		
受注者名	株式会社キタコン		
業務箇所	五所川原市大字長富地内	委託料	36,498,000円
履行期間	令和6年2月29日～令和7年3月25日	成績評定点	87点
完成年月日	令和7年3月25日	推薦公所	青森県西北県土整備事務所
管理技術者	岩崎 隆	総括調査員	佐々木 功雄
業務概要	橋梁詳細設計 N=1式 仮設構造物設計N=1式 地質調査 N=1式 軟弱地盤解析N=1式	主任調査員	工藤 寛之
		調査員	坂上 理紗子

## 推薦理由

本業務は、一般国道339号と一級河川飯詰川の交差点部に架橋されている『新長富橋』の橋梁架替修正設計と道路詳細設計及び軟弱地盤解析を実施したものである。基準改定による修正設計に加え過年度設計で課題となっていた次の点についても検討した。①冬期の走行安全性向上。②軟弱地盤対策によるコスト及び工程の圧迫。③既設杭と新設杭の干渉リスク。

①では低桁高構造による特殊橋梁を採用し(図-1)、盛土高さを最大で約1.3m下げることで縦断勾配4%に緩和し冬期走行安全性の向上を図っている(図-2)。ただし、この構造では橋梁端部の維持管理が困難となる課題もあったため、実寸模型で桁端部の構造を再現し塗装塗替え作業を実演し、発注者立ち合いのもと維持管理スペースを最適化している(図-3、写真-1)。②では、①により盛土高さを大幅に低くした副次的効果に加え、新たな地質調査箇所を追加することで解析精度を向上させ、大幅なコスト削減と約1年の工期短縮を実現している(図-4)。③では既設杭の切断が可能な全周回転の場所打ち杭を採用し、杭間隔への柔軟な対応余地も確保することで、現場条件に適した施工を可能にするなど様々な提案がされている。よって、本業務は「特筆すべき技術提案があったもの」に該当することから、青森県県土整備部優良建設関連業務に推薦するものである。

## 写真・図面等



## 受賞コメント

このたびは、「西北県土整備事務所長表彰」の栄誉を賜り、誠にありがとうございます。ご指導を賜りました西北県土整備事務所の調査職員並びに関係職員の皆様に心より感謝申し上げます。

本業務は、過年度設計の課題であった①冬季走行安全性向上、②コスト削減と工期短縮に配慮した軟弱地盤対策、③既設杭を考慮した杭配置計画について、調査職員にもアドバイスを頂きながら課題解決に努めた業務です。

本日の表彰を糧に、今後も技術力・品質向上に努め「安全安心で活力ある地域社会づくり」の一助となるように今後も努力して参ります。

引き続きのご指導ご鞭撻を賜ります様宜しくお願い申し上げます。



代表取締役  
佐藤 和昭



管理技術者  
岩崎 隆